

大海小学校 学校だより

# おおみ

平成二十五年八月三〇日(金)発行

## 9月号



☆学童相撲大会☆ 1年生男子

## 夏休み作品展

開催中

9/2(月)~9/5(木)

時間:16:00~18:00

会場:プレールーム

応募の関係上、展示されている作品数が限られています。ご了承下さい。



☆学童相撲大会☆ 2年生女子

## 困難に負けない子どもに

学校長 油井 宏樹

長い夏休みも終わり、日焼けして元気に登校してきた子どもたち。校門で挨拶をしていると、「背が伸びたなあ」「遅くなったな」と感じました。夏休みに実施したサマースクールや水泳教室では、それぞれの児童が一生懸命取り組みました。また、保護者の皆様にはプール当番でお世話になり有り難うございました。お陰様で大きな事件・事故もなく、無事に夏休みを乗り切ることができました。2学期は、運動会、大海っ子フェスティバル、サッカー交歓会、マラソン大会など行事がいっぱいあります。1学期に培った学力、体力を2学期に花開きますよう職員全員で支援したいと思っています。

さて、大海小学校には学校林があり、その中で杉が植えてあります。少し杉のことを述べます。全国にはいろいろな杉がありますが、杉の中でも「北山杉」は過酷な環境を経て育つ杉で有名です。杉を育てるときには、間伐して陽当たりを良くします。陽当たりを良くすると、当然太い杉に育ちます。ところが、北山杉は時間をかけて細く育てます。植える時からわざと密集させて育てます。間伐もしないので、育っても細いままで。その上で枝落としをして、わざと成長をにぶらせるようにしています。なぜ、このように育てるのでしょうか。この北山杉が育っている環境は、山の斜面が急で土の養分が少ない山地です。さらに霧が多く、日照時間が限られています。川の流れも細くて急なため、材木を流して運ぶことが出来ません。そのため、丸太にして山道を人の手で運ばなければなりません。この厳しい環境を生き抜くための人々の知恵とそれに対する樹木の適応が、細くて目の詰まった北山杉を生んだのです。

北山杉は細いので、床柱などにはあまり向きません。当初は住宅の内装などに利用しようと考えていたのですが、それよりも家具に使用することでその素材を生かせることが分かってきました。現在ではいすやタンスなどに使われ、その木肌の美しさや手触り感の心地良さを打ち出しています。

このことは、子ども達の育て方にも当てはまります。人はいつも恵まれた環境の中で生活できるとは限りません。なぜなら、人生は温風温暖の日だけとは限らないからです。時には強烈な風に遭遇するときもありますし、時には灼熱の太陽に焦がされることもあります。そのような時に、目の前の困難を乗り越えた経験があるかどうかで、苦難を乗り越えられるかどうかが決まります。

特に今後、資源のない日本が国際社会の中で発展できるかどうかは、子ども達がどう育つかにかかっていると言っても過言ではありません。「世界」という舞台を相手にしたこれからの時代は、順風満帆の状況で伸びていけるとは限りません。時代はむしろますます厳しさを増していっています。北山杉が厳しい傾斜に負けず、木と木の隙間がない窮屈な中で育つように、子ども達も厳しさに負けず乗り越えてほしいと願うのは私だけではないでしょう。さあ、子ども達を鍛え、力を身につけさせ、自らの力で困難を乗り越えていく人材に育つよう、学校と保護者とで連携し、後押ししていきましょう。



大海地区の活性化提案をする6年生

・・・かほく市子ども議会